

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第1区分

【発行日】平成18年9月7日(2006.9.7)

【公表番号】特表2005-526976(P2005-526976A)

【公表日】平成17年9月8日(2005.9.8)

【年通号数】公開・登録公報2005-035

【出願番号】特願2004-507778(P2004-507778)

【国際特許分類】

G 01 J	1/00	(2006.01)
G 01 J	1/04	(2006.01)
G 02 B	5/22	(2006.01)
G 02 B	5/28	(2006.01)
G 01 J	3/51	(2006.01)

【F I】

G 01 J	1/00	G
G 01 J	1/04	B
G 02 B	5/22	
G 02 B	5/28	
G 01 J	3/51	

【手続補正書】

【提出日】平成18年7月18日(2006.7.18)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

ディテクターと併用するのに好適なフィルターであって、
近赤外波長の帯域にわたり法線入射光を実質的に反射しあつ可視波長にわたり法線入射光を実質的に透過する干渉素子と、

可視波長にわたり非一様に光を吸収する吸収素子と、を備え、
ここで、該吸収素子は、高分子マトリックス中に分散された着色剤を含み、
該ディテクターと組み合わせたときに、相対応答がヒトの眼の視覚応答とほぼ同じであるディテクターシステムを生成するフィルター。

【請求項2】

前記着色剤が、少なくとも1種の顔料を含む、請求項1に記載のフィルター。

【請求項3】

請求項1に記載のフィルターをディテクターと組み合わせて備える、ディテクターシステム。

【請求項4】

フィルターフレームをさらに備え、かつ前記干渉素子が、該フィルターフレームに連結される、請求項3に記載のディテクターシステム。

【請求項5】

ディテクターと併用するのに好適なフィルターを作製する方法であって、
近赤外波長の帯域にわたり法線入射光を反射しあつ可視波長にわたり法線入射光を実質的に透過する干渉素子を提供することと、

可視波長にわたり非一様に光を吸収する吸収着色剤を樹脂中に充填することと、

該樹脂を造形して吸収素子を形成することと、

該干渉素子と該吸収素子とを組み合わせてフィルターを提供することと、
を含み、

該フィルターが、該ディテクターと組み合わせたときに、法線入射光に対する相対応答
がヒトの眼の視覚応答とほぼ同じであるディテクターシステムを生成する方法。

【請求項 6】

前記樹脂のフィルムを基材上に形成することを含む、請求項 5 に記載の方法。

【請求項 7】

前記干渉素子をフィルターフレームに連結することを含む、請求項 5 に記載の方法。